

本町田地区新たな学校づくり
基本計画検討会
報告書（案）
（2022年10月21日時点）

2023年〇月

本町田地区 新たな学校づくり基本計画検討会

1 新たな学校づくりの概要について

本町田地区の新たな学校づくりを検討するにあたり、町田市教育委員会における新たな学校づくりのイメージを共有しながら検討する必要があったため、以下の内容について、確認しました。

(1) 本町田地区統合対象校の概要及び統合後の想定児童数・学級数について

■町田第三小学校（築56年）



①児童数・学級数

通常学級	2021	2030	2040
児童数	450	352	304
学級数	14	13	12

②学校の主な変遷

1952年：町田第三小学校開校
（陶化学校-町田小学校本町田分校-町田小学校から独立）

■本町田東小学校（築51年）



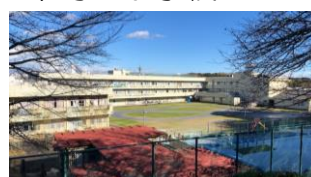
①児童数・学級数

通常学級	2021	2030	2040
児童数	236	180	171
学級数	10	6	6

②学校の主な変遷

1970年：本町田東小学校開校
（町田第三小学校の一部児童転入）

■本町田小学校（築44年）



①児童数・学級数

通常学級	2021	2030	2040
児童数	359	226	171
学級数	12	11	6

特別支援学級(2021)	知的	情緒
児童数	24	30
学級数	3	4

②学校の主な変遷

2002年：本町田小学校開校
（「本町田西小学校」「緑ヶ丘小学校」「原小学校」が統合）

■本町田地区統合新設校 想定児童数・学級数

※特別支援学級(知的・情緒)配置を想定

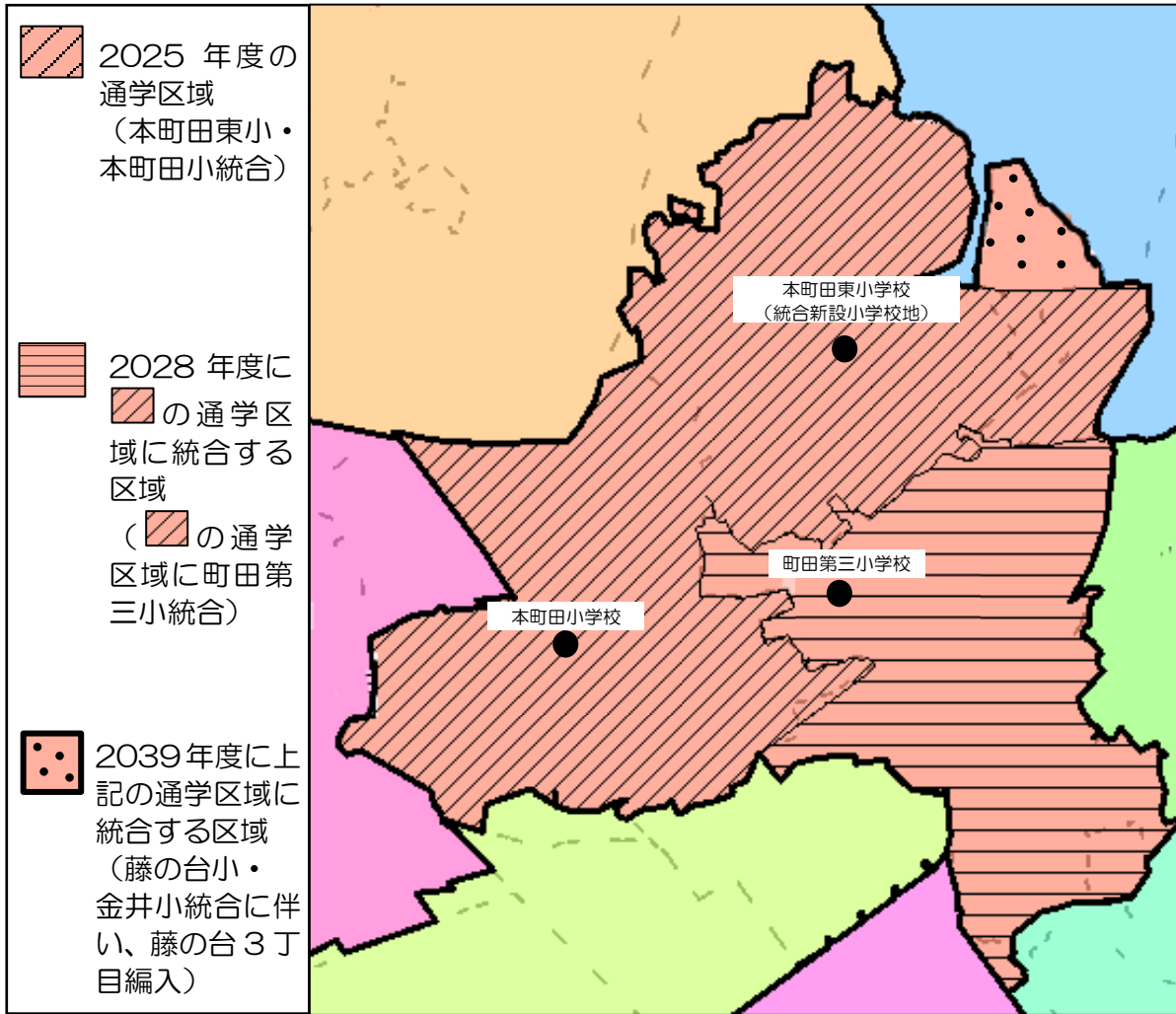
通常学級	2028	2030	2040
児童数	750	694	578
学級数	24	23	18

(2) 統合スケジュール

対象	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
本町田東小	既存校舎		新校舎建設			☆新校舎使用	
本町田小	既存校舎		既存校舎	既存校舎		→ 取り壊し	
		仮設校舎建設	仮設校舎	仮設校舎			
町三小		既存校舎					

統合スケジュールの注釈：統合は2024年から2027年にかけて行われ、2028年に新校舎が使用される。本町田小の既存校舎は2028年に取り壊される。

(3) 新たな通学区域図 (本町田・藤の台 1~3 丁目)



(4) 学校候補地となる現本町田東小学校の校地状況について



- 住所：東京都町田市本町田 3350
- 地域地区：第一種中高層住居専用地域、準防火地域
- 敷地面積：約 17,000 m²
- 容積率/建ぺい率：100%/50%

【計画地の特徴】

- 4面を高低差のある道路と擁壁で囲われている
- 擁壁と法面との位置関係に応じた門や校舎配置の検討が必要



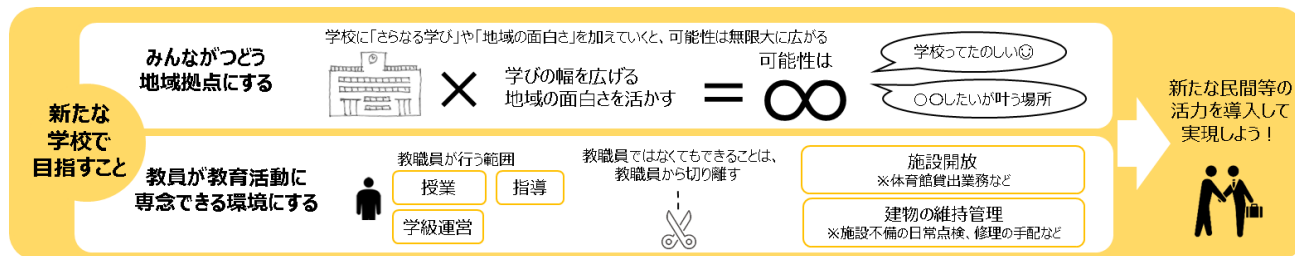
正門



西側なかよし散歩道から

(5) 新たな学校の運用体制（地域施設としての新たな学校）について

〈図〉新たな学校で目指すこと



- 基本計画検討会における検討内容
 - ・新たな学校への歴史の継承について
 - ・新たな学校の育てたい子ども像について
 - ・新たな学校の校歌・校章について
 - ・新たな学校の通学路の安全対策について
 - ・本町田地区 新たな学校名（案）について

■ 新たな学校への歴史の継承について

本町田地区の新たな学校においても、各校の教育活動などに関わっていただいている方々や地域の方々に愛着をもっていただき、引続き、本町田地区の子どもたちの教育活動にご協力いただけるよう、各校の歴史や想いの継承について、検討しましたので報告します。

(1) 検討会における物品・活動等の検討項目及び方針

□町田第三小学校

分類		継承・保存・引き取り方法
1 卒業制作・ 校名板・ 校旗・ 校章・ 記念冊子	1982年度卒業制作（校歌）	デジタル保存 卒業生へ返却を検討
	第38回卒業生卒業制作（校歌）	
	第39回卒業生卒業制作（レリーフ）	
	1997年度卒業制作（鏡）	
	1998年度卒業制作 1999年度卒業制作 2002年度卒業制作	
2 記念碑	百周年記念碑	デジタル保存 跡地に設置を検討要望
3 記念樹	もみじの木	デジタル保存
	梅の木（3本）	跡地に設置を検討要望
4 展示物	25回卒業生寄贈石碑	デジタル保存 寄贈者へ返却を検討 引き取り手を探すことも検討
	絵画	
	土器・唐箕	
	町田市子ども憲章	
	揮毫	
	学校の歴代航空写真	
	版画×6枚	
	石柱×2本	
	トロフィー、賞状等	
	日時計	
	版画×2枚	
レリーフ		
レリーフ×2枚		
5 教育活動・ 学校行事	農園活動	学校同士で検討
	稲作活動	
	縦割り活動	
	地域に密着した活動	
	読み聞かせ活動	
6 地域活動 ・地域行事	いなほ会	地域団体の円滑な合流・連携
	盆踊り大会	
	名人芸大会	
7 その他	給食	学校同士で検討
	校風	

□本町田東小学校

分類		継承・保存・引き取り方法
1 卒業制作・ 校名板・ 校旗・ 校章・ 記念冊子	1976年度卒業制作（校歌）	デジタル保存 卒業生へ返却を検討
	1979年度卒業制作（レリーフ）	
	1981年度卒業制作（レリーフ）	
	2020年度卒業制作（ペイント）	
2 展示物	図書コーナー	教育活動で利用できるものは継承、 他はデジタル保存 引き取り手を探すことも検討
	模型、写真等	
	教室の表札	
	季節行事関連の品（こいのぼりなど）	
	レリーフ 木製 レリーフ 木製 日時計	
3 教育活動・ 学校行事	東祭り	学校同士で検討
	縦割りの活動	
	地域交流	
4 地域活動 ・地域行事	地域交流	地域団体の円滑な合流・連携
5 その他	給食	学校同士で検討
	校風	

□本町田小学校

分類		継承・保存・引き取り方法
1 卒業制作・ 校名板・ 校旗・ 校章・ 記念冊子	統合前3校の資料 （原小・緑ヶ丘小・本町田西小）	デジタル保存
2 展示物	ふるさと館（郷土資料）	デジタル保存
3 教育活動・ 学校行事	本小まつり	学校同士で検討
	本小体操	
	本小タイム	
	ザマースクールの体験学習	
4 地域活動 ・地域行事	地域交流	地域団体の円滑な合流・連携
5 その他	和太鼓	学校同士で検討
	給食	

(2) 基本計画検討会での意見内容

町田第三小学校グループ

- 卒業制作：卒業生に返却していくことをきっかけに集まることもあるかもしれない。鑑賞ができる場を設けても良いのでは。
- 寄贈品：寄贈者に返却していくことでいい。百周年の記念碑は町田第三小学校があったことがわかるように今の場所に置いてあるといい。跡地の中で検討してほしい。
- 植栽：もみじも梅の木も現在の場所に置いといてほしい。跡地の中で検討してほしい。
- 教育活動：学校の先生同士で検討することがいい
- 地域活動：地域の主催団体ごとに検討することがいい。
- その他：新しい学校に物品等を持っていくことは難しいと思うので、基本的にデジタル保存してほしい。町田第三小学校がここにあったことがわかるように木や石碑を残してほしい。メモリアルルームをつくるのではなく、地域開放エリアを有効活用してほしい。

本町田東小学校グループ

- 卒業制作：卒業生に返却していくことをきっかけに集まることもあるかもしれない。鑑賞ができる場を設けても良いのでは。
- 寄贈品：図書コーナーの椅子は分割することもできるので、新しい学校有効活用ができないか。メモリアルルームの内容は、卒業制作などと同様デジタル保存していくことでいいと思うが、教育的に使うかなども含めて、どれを残すかなどは学校の判断で良いと思う。
- 教育活動：学校の教員同士で検討するのがいいのでは。統合後は人数もクラス数も違うため、その状況でどのように新しい教育活動をしていけるかという視点から考えたほうがいい。
- 地域活動：他の学校で開催していたお祭りや、町内会の運動会の地域行事を全て本町田東小学校の場所のでできるのかが心配。
- その他：3校のものを移設することは現実的には難しいと思うので、デジタル保存してほしい。デジタル保存する際には、当時の校舎内での配置等が思い出せるような工夫をしてほしい。学校の教室などに掲げている表札については、新しい学校で使えるなら使ってほしい。3校が統合して新しい学校になったということがわかるように、新しい学校の施設が具体になったときに、学校の中で歴史が見られるような工夫をしてほしい。（例：廊下などに配置、コミュニティルームなどに配置）

本町田小学校グループ

- 卒業制作：校歌板は卒業制作なのでデジタル保存をしてほしい
- その他：和太鼓は新しい学校でも使用できるなら教育活動で使ってもいいと思う。ふるさと館は教育活動では使用していないため、新しい学校に移設はせずに、デジタル保存がいい。資料室の内容はデジタル保存でみんなに見てもらえるようにするのがいい。
- 教育活動：学校の先生同士で検討することがいいが、形は変わっても、良い活動は主旨を活かした別の活動でもいいから残してほしい。
- 地域活動：地域の主催団体ごとに検討することでいい。形は変わっても、良い活動は主旨を活かした別の活動でもいいから残してほしい。
- その他：面積を考えると新しい学校にもっていくことは難しい。普段見ることができる状態ではないものはデジタル保存などでいつでも見られる状態にしたほうがいい。

(3) 歴史の継承に向けて

上記の検討会の意見を踏まえた配慮や工夫をしていただくとともに、新しい学校の児童が、統合校の歴史を感じられるような工夫を検討していただきたい。さらには、当時の学校のことを地域の方々も思い出せるような工夫をするなどして、地域の学校として愛着をもてるよう配慮をお願いしたい。

■ 新たな学校の育てたい子ども像

本町田地区の統合新設校に通う子どもたちについて、どのような子どもに育てて欲しいか、これを実現する教育理念をどのようなものにするか、以下の町田第三小学校・本町田東小学校・本町田小学校の教育目標も確認しながら、育てたい子ども像について検討しましたので報告します。

(1) 本町田地区の小学校の教育目標

①町田第三小学校

心豊かで、自分に自信をもち、相手を尊重しながら自己を表現できる児童の育成を目指す。

○ 元気な子

(心や体を鍛え、健康的で活力のある生活をする子「アクティブに生きる力」)

○ よく考える子

(自らの課題に向き合い、まわりとの関わりを通してよく考え、すすんで課題解決に取り組む子「課題解決力」)

○ 思いやりのある子

(自他ともに認め、お互いを大切にできる子「人間関係形成力」)

②本町田東小学校

○ 「よく考え、行動する子」

(主体的に学び、豊かな発想で工夫ができる子供の育成「主体的問題解決力」)

○ 「思いやりのある子」

(命や自然を大切に、互いに尊重し合える子供の育成「人間関係形成力」)

○ 「元気でたくましい子」

(心身を鍛え、目標に向かい努力する子供の育成「実践行動力」)

③本町田小学校

日本国憲法・教育基本法に基づき、未来社会の創り手として、主体的に学び続ける児童の育成を目指して、次の教育目標を定める。

「心豊かにかがやく本町田小の子ども」

自ら考え、努力する子ども

(主体的に学び続ける勤勉性と問題解決力)

思いやりのある子ども

(豊かな心で他者を尊重する人間関係調整力)

体をきたえる子ども

(自ら体を鍛え、目標に向かって向上しようとする自己実現力)

(2) 検討会における委員の意見

- 自分の足で歩ける子
- 共感・協働・思いやりなどをもってほしい
- いろいろなことに興味を持って主体的に学んでほしい、それらを体験していく子どもに育ててほしい。
- 環境の変化に対応できるようになってほしい
- 「至誠一貫」、常に相手の立場に立って真心を尽くす、相手の立場に立って考えられる優しい心を持った子
- 自然豊かな環境の中、子どもたちが素直で明るく、元気よく、健やかに、お友達から慕われ、人に優しく、温かな気持ちの持てる子
- 自分で考えて行動に移せる子
- 自分で考えて、これが正しい、これは間違っているということを判断できて、それが判断できたときに自分が正しいと思うことができる勇気をもった子
- 自分の意見も尊重し、相手の意見もちゃんと聞いて、お互い違うところを認めながら意見交換できる子
- 自分を素直に出せなかったり、自分を少し押し殺してしまうことがないような子
- 自分の意見を言えている子
- グローバル化が進む中で、英語などの外国語が話せる子、国際的な視野を持った子
- 未来社会に生きるため積極性や創造力、いろんな学力をもち、そこに柔軟な心を持った子
- NO と言える、嫌なことは嫌と言える子
- 集団での生活の中での協調やお互いを尊重し合える子
- 思いやり、この気持ちを育てていただきたい
- 物事に楽しんで取り組む子（未来への希望を持てる子）
- いろんな人・考え・行動を認められる子（みんな違ってみんないい）
- 体力低下も心配なので体力がある子。荷物の重さもあるが歩くことも大切
- 学校が大好きで毎日を楽しく過ごせる子

(3) 統合新設校の教育目標策定に向けて

検討会では、上記(2)のように、自分で動ける・話せるなどの主体性、相手も自分も尊重する思いやり、環境変化に対応できる子などの意見が挙がりました。

また、子どもを育てるにあたっては、「絶対にそうでなくてはならない。」といったように、型にあてはめることを強要するのではなく、その子に合った教育をしてほしい、時代時代に応じた教育をしてほしいといった、育てたい子ども像だけではなく、子どもを育てるにあたって大事にしてほしいという観点についても意見が挙がりました。

今後、三校の学校長には、これらの意見や意見募集の内容を踏まえ、本町田地区の統合新設校における教育目標を考えていただきたい。

■ 新たな学校の校歌・校章について

本町田地区の新たな学校の校歌・校章について、新たな学校に通う子どもたちの円滑な合流の実現の観点から校歌・校章の作成時期や方法について検討しましたので報告します。

(1) 校歌

①作成時期

- ・事前に校歌のフレーズを出し合ったりして一緒に出し合っつけていくことで統合校同士で一体感を出すことができると思う。
- ・最低 2028 年度までに欲しいが、2025 年度の統合時にみんなで歌ったりすることができるのでみんなで一体感をもつことができると思う。
- ・統合するタイミングに新しい学校になるのであれば、そのときに歌える学校の校歌があったほうがいいが、町田第三小学校が遅れて合流してくるので、温度感をすり合わせてできるといい。
- ・統合後に作るのも一つの考えとしていいのではないかな。

②作成方法

- ・3校の児童が一緒になって何かつくったという連帯感を高められるような形で作り合うことが大事だと思う。
- ・児童と地域の方々で出していただいた案を地域にゆかりのある方に、まとめていただいて形にさせていただくのがいいと思う。
- ・100年、200年残ることも見据えて、最後の仕上げは専門家につくってほしい。
- ・ゆかりのある人に作ってほしい。
- ・それぞれの学校があるうちに校歌をつくったほうが、今の学校のキーワードを引き継いで新しい学校のものができるんじゃないかな。
- ・近隣の大学と協力して作成する方法もいいと思うし、その後も学校と大学との連携が継続して続けられるようなことができるといい。
- ・地域の方に公募もいいが、キーワード等の想いは受け止めつつも、中立的な立場で専門家に依頼することもいいと思う。
- ・本町田東小と本町田小の作詞家は同じ地域の方なので、そのような地域に根差した方に作っていただくのもいいと思う。

(2) 校章

①作成時期

- ・事前にデザインを一緒に出し合っつてつくっていくことで、統合校同士で一体感を出すことができると思う。
- ・最低 2028 年度までに欲しいが、2025 年度の統合時に授業で使えたりできるのでみんなで一体感をもつことができると思う。
- ・統合するタイミングに新しい学校になるのであれば、そのときに使用できる学校の校章があったほうがいいが、町田第三小学校が遅れて合流してくるので、温度感をすり合わせられるといい。

②作成方法

- ・子どもにつくってもらったものを最後専門家にきれいにしてもらうのがいいのではないかな。
- ・近隣の大学と協力して作成する方法もいいと思うし、その後も学校と大学との連携が継続して続けられるようなことができるといい。
- ・地域の方に公募もいいが、キーワード等の想いは受け止めつつも、中立的な立場で専門家に依頼することもいいと思う。

(3) 校歌・校章の作成に向けて

2025 年度や 2028 年度の学校統合時に円滑な合流が実現できるように、校歌・校章を作成したり、一緒に歌ったりできるよう進めてほしい。

また、作成にあたっては、子どもたちや地域の想いを大事にしなが、今後も残っていくものにふさわしい内容を作っていたきたい。

(参考) 他自治体等における作成方法事例

作成方法	内容
公募	市の広報や学校だよりなどで公募し、選考会などで選定
児童の案	児童の案を元に先生や専門家が修補、選考会などで選定
地域に縁のある人に依頼	町田市や地域に在住または出身の方に依頼
地域の大学等と連携	地域の大学と協力して作成。
学校の先生による作成	統合する学校同士または統合新設校の音楽や国語、図工の先生などに作成を依頼
専門家に依頼	作詞家や作曲家、デザイナーに依頼

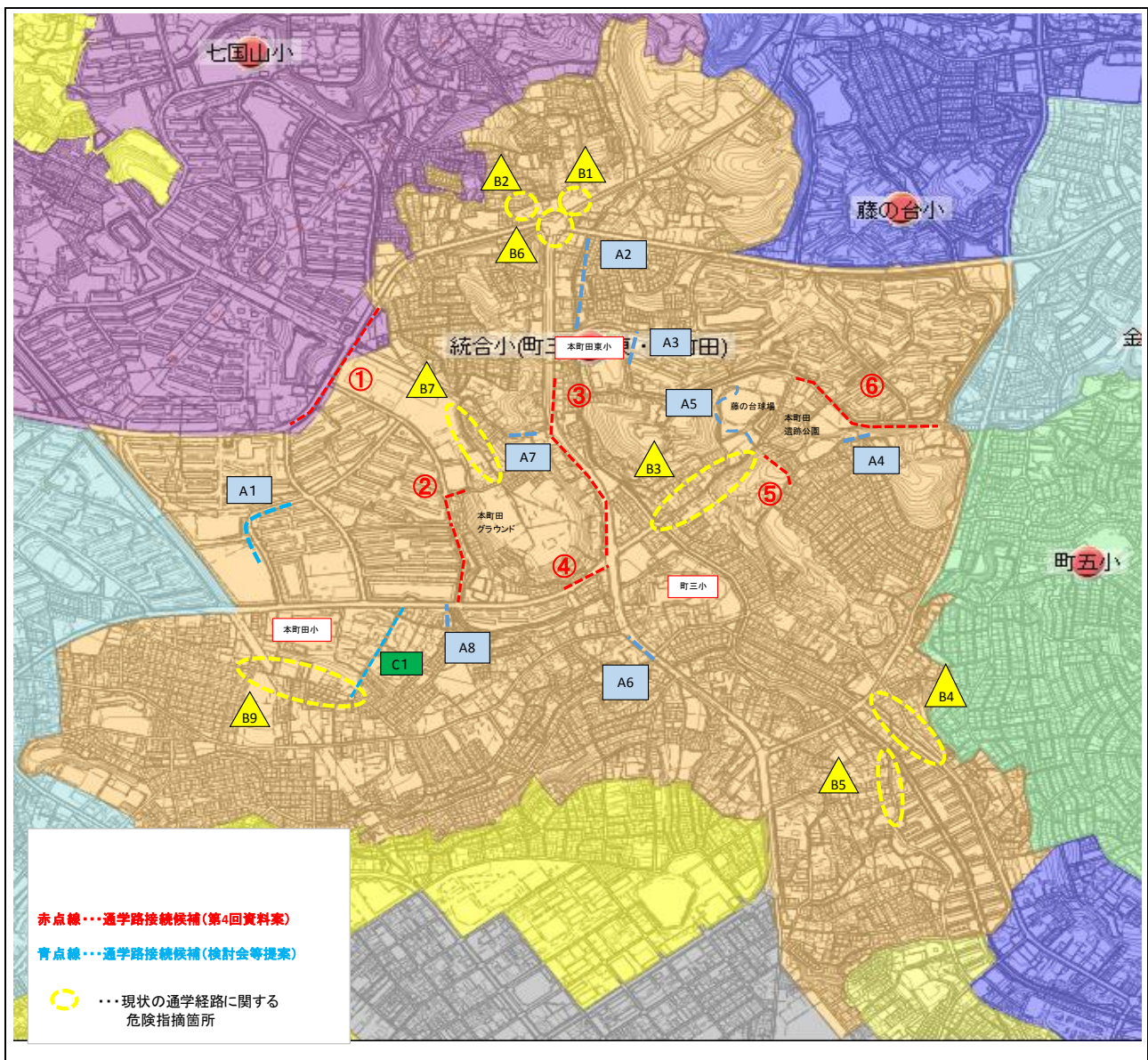
■ 新たな学校の通学路の安全対策について

新たな通学区域における通学路候補箇所の安全対策について現地確認及び意見交換を実施しましたので、その結果を報告します。

(1) 通学路の整備などの安全対策

通学路については、以下の通学路候補図に記載している通学区域変更後の通学路候補箇所（現在の通学路との接続箇所）について、6～7月にかけて、朝の登校時間を中心に現地確認を実施し、当該箇所の安全対策に関して検討を行いました。

①通学路候補図



②通学路候補への要望事項

委員指摘内容	該当する確認箇所	要望の方向性	委員指摘内容	該当する確認箇所	要望の方向性
1 歩道が狭い（歩道を走る自転車が危ない）	①・③	道路管理者にて自転車が車道を走る対策（自転車ナビマーク【図1】等） 自転車のスピード抑止策（「自転車スピード落とせ」【図2】等の注意看板）  	12 坂道で車がスピード出す	⑤・A4・A7	道路管理者にて看板等【図5】でスピード抑止対策。
2 歩道が狭い（車とのすれ違いが危ない）	③・A2・A8	道路管理者にてポストコーン等【図3】で歩道内の安全対策検討依頼。 	13 暗い（通行の安全性）	⑥・A4・A5	道路管理者にて照度の確保（街路灯設置検討）。
3 周辺店舗への車両の出入り	①	店舗に出入り口を明確化する安全対策を依頼（ポストコーン等【図3】）。	14 暗い（不審者）	⑥・A4・A5	安全確保（警察及び見守り隊にてパトロール）。
4 道路の段差	①	補修で対応できるのであれば、道路管理者に補修依頼。	15 交差点に止まれ表示がない	A2	警察に検討依頼。
5 草木が視界を遮る、物陰ができる	③・A4・A5・A7	道路管理者から所有者に剪定指導。 緑の台球場内であれば、指定管理者に剪定依頼。 道路管理者にて照度の確保（街路灯設置検討）。	16 車が双方方向から来るのが危険（スクールゾーンにしてほしい）	A2	警察に検討依頼。
6 信号機のない横断歩道	③・A3・A4	道路管理者にて横断歩道を、明確化する対策（「歩行者注意」看板等【図4】の設置）。 	17 ガードレールを設置してほしい	A3	道路管理者に設置依頼。
7 車の視距がない交差点	③	視距が無い原因が、せり出してであれば道路管理者から所有者に剪定指導。	18 横断歩道を設置してほしい	A4	警察に検討依頼。
8 （ひなた山の）水路を歩道にできないか	③	下水道部に検討依頼。	19 スズメバチが危険	A5	巣が道路管理箇所であれば、道路管理者に撤去依頼。
9 歩道が被っている	④	樹木による根上りが原因なら、道路管理者に補修依頼	20 標識が見えない	A7	道路管理者から所有者に剪定指導。
10 狭いカーブで安全確認が困難	⑤・A7	道路管理者にて看板等（「スピード落とせ」【図5】）で手前からスピード抑止対策。 	21 一時停止を守らない車両	A8	警察にて取り締まり。
11 急坂で安全確認が困難	⑤	道路管理者にて看板等【図5】及び路面滑着（「速落落とせ」【図6】）で、スピード抑止をし、安全を確保する。 	22 道路面に色を塗ってほしい	A8	道路管理者に検討依頼。
			23 見通しが悪い	C1	道路管理者にてスピード抑止対策（「スピード落とせ」などの注意看板【図5】等設置）。

(2) 通学の安全対策に向けて

通学区域変更後の通学路候補箇所（現在の通学路との接続箇所）について、上記②の要望のとおり、交通管理者等へ安全対策を要望していただきたい。

また、通学路候補途中の△で表示している既存の通学路についても、引き続き通学路点検を通して、道路管理者や交通管理者等と連携して改善していくようお願いしたい。

■ 本町田地区 新たな学校名（案）について

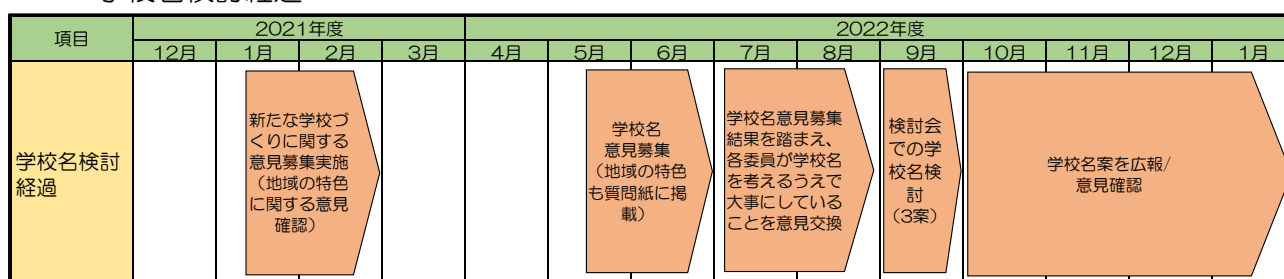
本町田地区の新たな学校名意見募集結果や学校名を選定する際の教育委員会の「統合新設校の学校名選定基準について」を踏まえながら検討会において検討し、以下のとおり3案の選定を行いましたので、報告します。

(1) 学校名選定の検討経過について

学校名を選定するにあたっては、学校統合する児童やその保護者、地域住民の皆様に意見募集を行い、学校名案の募集を行いました。

特に、学校は地域の拠点ともなる場所であることから、2022年1月26日～2022年2月16日に実施した意見募集の地域の特色の回答内容も提示しながら、統合する地域の特色なども踏まえて考えていただけるように意見募集を行いました。

■ 学校名検討経過



(2) 意見募集結果（回答件数上位 10 位・児童上位 10 位の案）

学校名意見募集では、計 799 件ものご意見をいただき、以下の結果となりました。

■ 回答件数上位 10 位

No.	読み仮名	合計	うち児童
1	ひなたやま	65	22
2	ほんまちだ	56	33
3	ひなた	54	20
4	ほんまちだひがしだいさん	47	47
5	ほんまちだひなた	34	14
6	ひなたむら	33	29
7	ほんまちだ しぜん	20	18
8	ほんまちだだいさん	16	14
8	ほんまちだひなたやま	16	8
10	ほんまちだひがし	14	12

■ 回答件数児童上位 10 位

No.	読み仮名	合計	うち児童
1	ほんまちだひがしだいさん	47	47
2	ほんまちだ	56	33
3	ひなたむら	33	29
4	ひなたやま	65	22
5	ひなた	54	20
6	ほんまちだ しぜん	20	18
7	ほんまちだひなた	34	14
7	ほんまちだだいさん	16	14
9	ほんまちだひがし	14	12
10	まちだだいさん	12	9

(3) 検討会における新たな学校名（案）の検討について

検討会においては、意見募集の内容なども踏まえながら、以下のとおり3案を選定しました。

①学校名候補について

検討会委員からいただいた学校名案及びその理由のまとめについて

■検討会委員からいただいた学校名案

- ・本町田ひなた小学校（5件）
- ・ひなた小学校（4件）
- ・ひなたがおか小学校（計4件）※日向ヶ丘（3件）、ひなたヶ丘（1件）
- ・ひなたの丘小学校（3件）
- ・本町田東第三小学校（1件）
- ・本町田三校小学校（1件）
- ・本町田小学校（1件）
- ・町田ひなた小学校（1件）
- ・本町田ひなたヶ丘小学校（ひなたは漢字/平仮名表記問わず）（1件）

■上記学校名を考えた理由

- ・本町田という地名は大事にしたい。
- ・学校の場所が学校名からわかるようにしたい。
- ・学校の立地・地形も学校名からわかるようにしたい。
- ・ひなたという言葉は、イメージが温かく良いと思う。
- ・3校が統合するということから、どの学校の名前も大事にしたい。
- ・意見募集の子どもたちから多く挙がった意見を大事にしたい。
- ・いずれかの学校に吸収されてしまう印象がないように新しい学校名にしたい。
- ・「日向ヶ丘」「ひなたの丘」という学校名は、平仮名だとやわらかいイメージで小学生も書きやすく良いと思う一方で、長年使うことを考えると漢字のほうがしっかりとしているとも思う。
- ・地名も使用して、わかりやすく、長くないものにした方がいいと思う。
- ・教育委員会の選定の考え方にも合致する内容で考えたい。

②3案の選定結果について

検討会においては、上記①の内容を踏まえ、以下のとおり3案を選定いたしました。

■検討会案① 本町田ひなた小学校

■検討会案② ひなた小学校

■検討会案③ ひなたの丘小学校

(4) 学校名（最終案）の選定に向けて

教育委員会で最終案を選定するにあたっては、教育委員会の考え方だけでなく、本検討会での意見募集結果や各委員から出された「想い」も踏まえながら、本町田地区の新たな小学校にふさわしい学校名を選定していただきたい。